

瀬川瑛子さんと山本譲二さん名曲熱唱 2000人がうっとり

【JA越後おぢや共済高額契約者招待会】



▲名曲の数々を披露する瀬川さんと山本さん

11月15日(日)、JA越後おぢや共済高額契約者招待会「瀬川瑛子&山本譲二 歌謡ショー」を、長岡市立劇場で開きました。

招待会には、1部と2部合わせて約2000人が参加。瀬川さんと山本さんの歌やトークを楽しみました。

開会に当たりの谷口熊一組合長は、当JAの共済新契約実績と地域の皆さまの役に立てた共済金の支払い状況を報告。共済事業への理解と協力にお礼を述べま

した。

瀬川さんと山本さんがステージに立つと観客席から大きな拍手が湧き上がりました。瀬川さんは昭和最後のミリオンセラーとなった「命くれない」などを、山本さんはロングセラーで大ヒットした「みちのくひとり旅」などを、それぞれ名曲の数々を披露しました。また、ショー終盤にはJA職員から瀬川さんと山本さんに小千谷産「魚沼コシヒカリ」と花束を贈りました。

児童がコシヒカリ販売 感謝祭にぎわう

【四ツ子支店】



▶「吉ヒカリ」を販売する吉谷小学校の児童

11月1日(日)、四ツ子支店は、支店協同活動の一環で「ふれあい感謝祭」を開きました。会場の吉谷トレーニングセンターには、組合員や地域住民ら約800人が来場し、「にぎわいました。販売ブースでは、吉谷小学校5年生が新米「コシヒカリ」を販売し、人気を集めました。

児童らは「コシヒカリ」に「吉ヒカリ」と名付けて販売しました。これは、児童が総合的な学習の時間を



▲よさこい踊りを楽しむ来場者

活用し、保護者や地元農家の協力を得ながら、大切に育ててきたもの。等級検査は、JAの上ノ山低温倉庫で行い、全量1等に格付けされました。児童らが2キロ袋入りの5キロ袋入りを用意。合わせて約200キロを完売しました。

会場では、地域の子どもらが、祭りばやしに合わせて獅子舞を披露。JAのよさこいグループ「凜」などがよさこいを踊って会場を盛り上げました。

大日養鯉場が総合V 「紅白」で3年ぶり大臣賞

【新潟県錦鯉品評会】



▲農水大臣賞の「紅白」

品評会には県内のニシキゴイ生産者が、丹精して育

てた逸品が集まりました。審査は体形や色彩、斑紋などを総合的に判断しました。今年は、前年の品評会を57点上回る計984点が出品されました。平成16年の新潟県中越地震の発生後で最多の出品数となりました。

第80超部(体長80センチを超えるもの)に出品した三仏生の大日養鯉場(株)の「紅白」が、全体総合優勝1席の農林水産大臣賞に輝きました。同社の農水大臣賞は3年ぶり4度目。同2席(水産庁長官賞)も同社が第80超部に出品した「昭和三色」が入賞しました。

品評会には、第15部(15センチまで)から第80超部までの5秒刻みの規格で設定した15の各部門で、優勝したニシキゴイに県知事賞が贈られました。審査終了後の一般公開には、国内外から愛好者ら約1600人が訪れました。

ニンジン出荷始まる 出荷量120ト見込む

【小千谷人参生産組合】



▲ニンジンを収穫する生産者

11月12日(木)、小千谷人参生産組合は、JA千谷野菜集出荷場にニンジンのお荷を始めました。

今年度は、8月中旬の播種(はしゆ)前後に適度な降雨があり、発芽が良好。昨年度同様の約120トの出荷を見込んでいます。また、昨年度行った10品種の試験栽培の結果を踏まえ、今年度は5品種に絞って試験栽培を実施しました。

錦鯉特別市場開く 優秀品70舟出品

【JA養鯉青年部】



▶ニシキゴイを品定めするバイヤー

11月6日(金)、JA養鯉青年部は、錦鯉特別市場を、南河原のJA錦鯉市場で開きました。特別市場は、せり開始値が1万円以上に設定されており、この日は同青年部らが出品した優秀品70舟が次々とせりにつけられました。同青年部の平沢博典部長は「特別市場の開催を楽しみに、朝早くから足を運んでくれた方もいた」と話しました。

窓口担当者セールス力競う

[JAバンク新潟]



▲接客技術を披露する城川支店職員

11月14日(土)、JAバンク新潟主催の窓口セールスロールプレイング大会が長岡リリックホールで開催されました。上中越管内の12JAが参加。基本対応マナーや情報収集・セールス力などを競いました。当JAは城川支店の窓口担当者ら3人が出場。惜しくも上位入賞は逃しましたが、担当者らは日頃の窓口業務の成果を存分に発表しました。

四之町チームに栄冠

[城川・千田・片貝中央支店]



▲優勝に喜ぶ四之町チーム

11月9日(月)、城川・千田・片貝中央の3支店は、北部地域親善ゲートボール大会を片貝スポーツセンターで開きました。競技の結果、片貝中央支店管内の四之町チームが、みごとなプレーとチームワークで優勝に輝きました。同大会には、北部地域から8チーム総勢43人が参加。熱戦が繰り広げられました。

雄大な山々と紅葉満喫

[JA女性部]



▲万座温泉日進館にて

11月8日(日)・9日(月)、JA女性部は、部員相互の親睦を目的に旅行を実施しました。一行は、群馬県のごんじやくパークで試食とお買物。峠の釜めしで有名な「おぎのや」では、秋の味覚を満喫しました。2日目は、紅葉が綺麗な志賀・草津高原ルートを楽しみ、小布施を散策後に帰路に着きました。日頃の疲れを癒した旅となりました。

盟友ら直売所を視察

[JA青年部]



▲ビッグスワンスタジアムにて

11月7日(土)、JA青年部は、新潟市のファーマーズマーケット「いっぺこ」とへ視察研修に行っていました。この日は20人が参加。商業化の進む地区における大規模なファーマーズマーケットでの農産物の直売や加工・製造・販売を視察しました。視察後は、ビッグスワンスタジアムでサッカー観戦。盟友相互の親睦を図りました。

市民駅伝で職員が快走 [小千谷市民駅伝大会]



▲たすきをつなぐJA職員

11月1日(日)、JAの職員有志による駅伝チームは、小千谷市陸上競技協会主催の第2回小千谷市民駅伝大会に出場しました。昨年より6つ順位を上げ、一般男子の部で33チーム中3位に輝きました。

また、11月8日に片貝町で開かれた第36回片貝町民駅伝大会にも出場。社会人の部で10チーム中2位に入賞しました。

地域へ感謝込め 歩道空き缶拾い



▲歩道に落ちているごみを拾い集めるJA職員

11月7日(土)、全6支店は、支店協同活動の一環として、市内で歩道の空き缶拾いを行いました。地域貢献活動に役職員80人が参加しました。平成25年から取り組んでおり、今年度2回目の。この日に掃除した歩道の総延長は72kmほど。ごみ袋約60袋分に達しました。活動について、地域の方より「早朝からありがとう」とのお声をいただきました。

魚沼病院 お知らせ

一部負担金のあれこれ

JA新潟厚生連 魚沼病院
医事課長 手塚由美子

投薬、検査等の治療の対価が診療報酬というもので国が定めています。診療報酬に基づいて計算されたものがいわゆる医療費とよばれるものです。

医療費は一部負担金と保険者健康保険料を支払っている市町村や保険組合等に審査機関を通して請求するものとの、2本立てになっています。

一部負担金というものが、外来で診察をうけたり、入院治療を受けた時に会計窓口で支払っていたにしているものです。

入院を予定されたり、または入院をされた家族の方から、いくらかかりますかというご質問をうけますが、医事課職員は一部負担金の上限額を参考にお返事させていただきます。上限額は、年齢や所得によって異なりますが、暦月で1ヶ月に最終的に医療機関や薬局に支払う金額をいいます。

また、食事の料金や個室料金は除きます。

70歳以上で一般的な上限額は左の表1ですが、現役並み所得の方、住民税非課税の方は金額が異なります。70歳以上の方は自動的に窓口での支払いが上限額までの支払いとなりますが、住民税の非課税のかたは認定証の提出が必要となります。

70歳未満で一般的な上限額は外来・入院ともに左の表2ですが、高額所得、住民税非課税の方は金額が異なります。入院された場合に、加入する医療保険からの所得区分の認定証を早急にご用意し病院に提出していただきますと、窓口での支払いが上限額までとなります。さらに世帯合算や多数該当といった更なる負担軽減の制度があります。詳しくは病院会計窓口にお尋ねください。

表1

外来	入院
12,000円	44,000円

表2

外来・入院ともに
$80,100円 + (医療費 - 267,000円) \times 1\%$
57,600円